

実施日程		実施校名	
2023年6月27日(火)	大阪府	岸和田市立八木南小学校	
2023年6月28日(水)	京都府	京都市立松ヶ崎小学校	
2023年6月29日(木)	京都府	木津川市立相楽小学校	
2023年6月30日(金)	京都府	京丹後市立峰山中学校	
2023年10月12日(木)	滋賀県	長浜市立高月中学校	
2023年10月16日(月)	大阪府	高槻市立西大冠小学校	
2023年10月17日(火)	滋賀県	米原市立大原小学校	



いそべしやうこ
磯部省吾
しき
指揮

6月
公演

©Kazashito Nakamura



ひらかわのりゆき
平川 範幸
しき
指揮

10月
公演

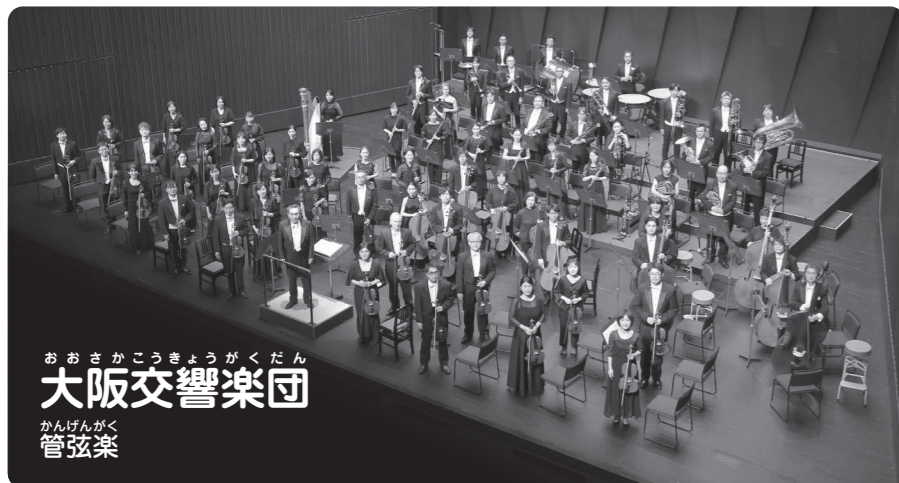
東京バレエ団「くるみ割り人形」を指揮してデビュー。青山劇場プロデュース「三つのオレンジへの恋」を指揮してオペラデビュー。以来コンサートだけでなく劇場音楽の分野においても活躍している。Kバレエ団初代音楽監督も務め、同バレエ団の中国公演を成功に導いた。これまでに、札幌交響楽団、東京フィル、東京交響楽団、名古屋フィル、大阪フィル、広島交響楽団、九州交響楽団などに客演している。現在、昭和音楽大学講師。星空が好きで、地形をみることも大好きで、サッカーをこよなく愛する、ちょっと変わった趣味をもつひと。大阪生まれ。

福岡県出身。指揮を下野竜也、大河内雅彦の各氏に、ピアノを田中美江氏に、音楽理論を中原達彦氏に、キャッチボールをおじいちゃんに師事する。また、パーヴォ・ヤルヴィの指揮マスタークラスを受講する。新日鉄住金文化財団指揮研究員、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を歴任。2016年度より現在まで、仙台ジュニアオーケストラ音楽監督を務める。福岡ソフトバンクホークスファン。給食の牛乳ジャンケンには積極的に参加するタイプ。テニスを習っていたが、サーブが絶望的に遅く、ほとんど相手のチャンスボールになる。AB型。



とくしまりかこ
徳島 理香子
しかい
司会・ナレーション

子供のころから歌うことが大好きで、大学では歌を学び、現在も修行中。色々な新しいことに挑戦したい思いから「にじいろの詩歌」の会を主宰し、最近ではヨガにはまっている。一般社団法人社会と災害文化研究所理事、神戸音楽家協会会員。



おおさかこうきやうがくだん
大阪交響楽団
かんげんがく
管弦楽

©飯島 隆

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！」を提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されています。2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称しました。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名が就任し、さらなる楽団の飛躍が期待されています。楽団公式ホームページ(<https://sym.jp>)

れいわ ねんど
令和5年度

がっ こう じゅん かい
学校巡回
こう えん じ ぎやう
公演事業

おお さか こう きやう がく だん
大阪交響楽団
えん そう かい
演奏会

こう えん
オーケストラ公演



©飯島 隆

がっこうじゅんかいこうえんじぎやう
「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



文化庁

舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

オープニング

○ジョン・ウィリアムズ

映画音楽「スター・ウォーズ」よりメインテーマ

オーケストラ解剖

○なかむらたかし

～オーケストラの仲間たち～

楽器紹介メドレー



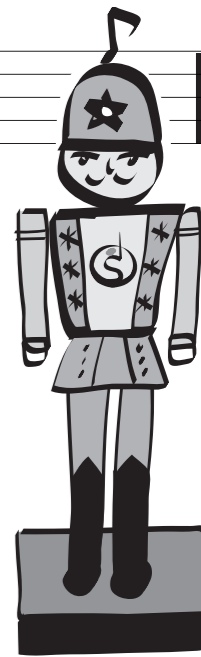
チャイコフスキー (1840～1893)

クララのクリスマス

○ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
バレエ音楽「くるみ割り人形」より

- ・序曲
- ・行進曲
- ・くるみ割り人形と二十日ネズミの戦闘
- ・冬の松林 (クリスマスツリーの中で)

- ・トレパーク (ロシアの踊り)
- ・花のワルツ
- ・金平糖の踊り
- ・終幕のワルツとアポテオース



がっきはいちず

楽器配置図 キーワードは“4”

ワークショップでのお話を覚えていますか？ オーケストラの楽器は、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器と4つの部分からなっています。下の絵を見ながら、次にどんな楽器が登場するかを想像してみてください。

弦楽器

オーケストラの中で一番人数が多いセクションです。ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの4種類の楽器が基本です。4つの楽器でオーケストラの基礎を成します。ハープも弦楽器の仲間です。

◎ヴァイオリンは、同じ楽器が、第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンとに分かれ、一番高い音域を担当し、常に華やかで目立ちたがり屋な楽器です。

◎ヴィオラは、ヴァイオリンと同じ形ですが、一回り大きくなり、少し低い音を、柔らかく落ち着いた音色で担当します。

◎チェロは、ヴィオラをさらに大きくしたので、もうアゴの下に挟んでは弾けません。大人の人の声に一番近いと言われ、朗々とした暖かい音色でたっぷりのメロディを歌うことが得意です。

◎コントラバスは、2メートル近くもある、弦楽器の中で、もっとも大きな楽器で、一番低い音を担当し、オーケストラをしっかりと支えます。

打楽器

打楽器も大きく分けて4種類から成り立っています。木の打楽器、金属の打楽器、皮の打楽器、音階がある鍵盤の打楽器。ワークショップではみなさんの学校の音楽室にある楽器を例えて、簡単にお話しましたが、今日はオーケストラが使っている、たくさんの打楽器が目前にあります。さて、どの楽器がどの種類に入るかな？

オーケストラと共演しよう！

みなさんの学校の吹奏楽や金管バンド・リコーダー・合唱などと大阪交響楽団と一緒に演奏する共演コーナーです。

- 杉本竜一 ビリーブ (リコーダー・合唱共演)
- 菅野よう子 花は咲く (合唱共演)

金管楽器

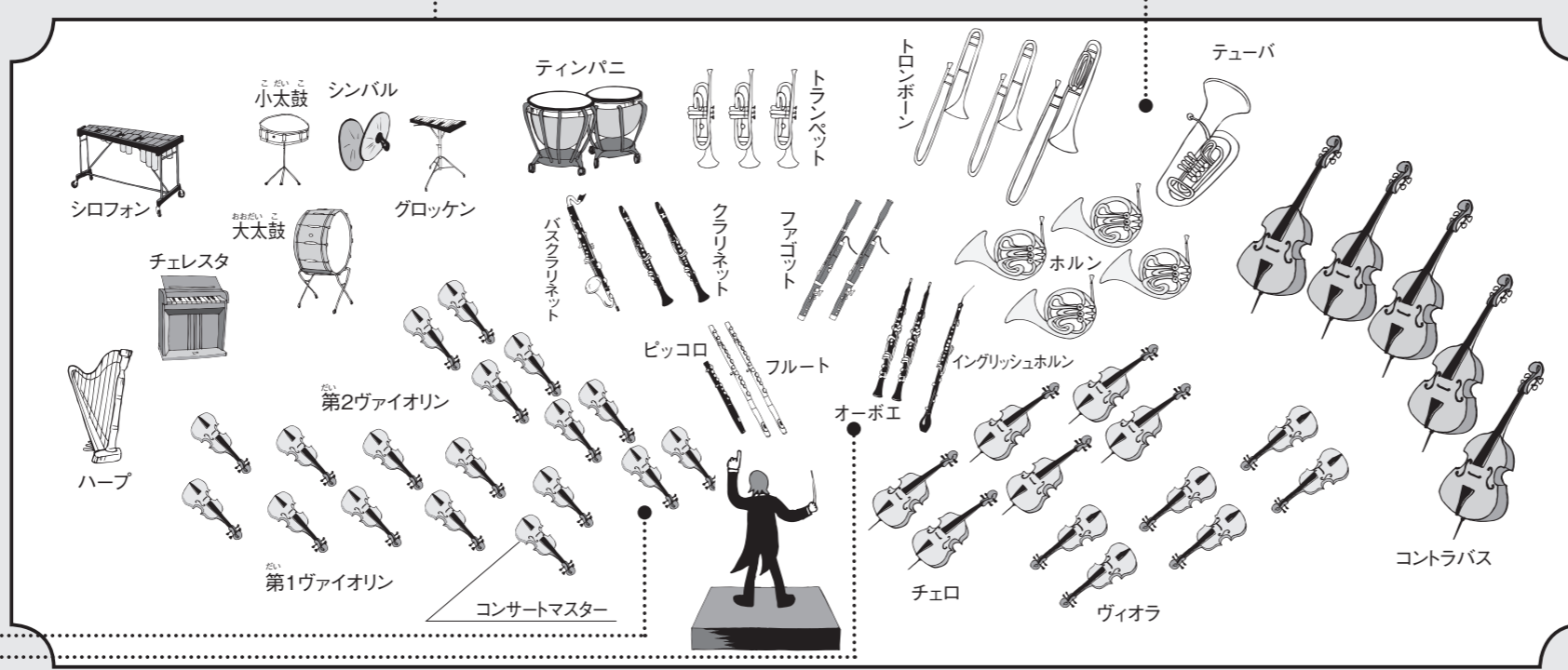
ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバの4つの楽器が基本です。管の部分でできている楽器が金管楽器です。その音色から華やかさを演出します。

◎ホルンは、動物の角からできた“角笛”がホルンに進化しました。実際に山々に響く“こだま”のように、雄大な表現に使われます。ほかの金管楽器とちがって、音が出るペルは後ろを向いています。これも馬に乗って後ろの馬に合図を送るための“角笛”の名残です。

◎トランペットは、オーケストラの中で、もっとも輝く、大きな音が出る、花形の楽器です。ファンファーレなど、勇壮なメロディが得意です。金管楽器の音の出し方は、すべて同じで、マウスピースという吹き口に唇をあて、空気を振動させて、楽器本体を使って音を増幅させます。

◎トロンボーンといえば、スライドで管の長さを伸び縮みさせて、音を滑らかに上下させる、グリッサンドという奏法が特徴的です。古くは、教会で重要な役割を果たし、“神聖な楽器”というイメージです。

◎チューバは、どこにいるでしょう？みなさんから見て右側の一番後ろ、管楽器の隅っこにいます。10数キロもある、楽器の大きさが、ひときわ存在感を放っています。コントラバスと一緒に、オーケストラのもっとも低い音を担当します。



木管楽器

フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴットの4つの楽器が基本です。管の部分で木でできている楽器が木管楽器です。木管楽器はそれぞれ特徴的な音でオーケストラに彩りを与えます。

◎フルートは、今では金属でできていますが、もともとは木で作られていました。フルートは“笛”という意味です。

◎オーボエは、オーケストラの演奏が始まる前のチューニングで、その基本となる音を出す大事な仕事を担当しています。リードという葦の一種から作ったものを楽器に差し込んで音を出します。

◎クラリネットは、オーケストラの中では新しい楽器です。といっても200年ほどたっています。オーケストラの歴史は450年ほどあります。ふくよかな音色で、小さな音もきれいに演奏できる特技があります。

◎ファゴットは、イタリア語で“束ねる”という意味です。楽器を良く見てみると、木の管を束ねてあります。束ねた管をまっすぐつなげると、2倍以上の長さになります。みなさんの心を和ませる柔らかい音が特徴です。